

会 議 記 録

次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成30年度第1回瀬戸・高松広域連携中枢都市圏推進委員会
開催日時	平成30年11月26日（月） 午前10時30分～午前11時30分
開催場所	高松市防災合同庁舎3階 災害対策本部室
議 題	(1) 「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」の目標達成状況 及び 取組事業の評価等について（対象：平成29年度実施事 業） (2) 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏における取組事業の新規・ 拡充等について（平成31年度以降実施分） (3) その他 圏域愛称について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	会長 大西秀人、副会長 二川浩三、菊池 等、松岡みどり、井 上弘志委員、三枝邦彦委員、井上正清委員、松本 篤委員、谷 康男委員、豊島 庸全、小林眞一委員、井下良雄、前田武俊委 員、河野 雅廣委員
傍 聴 者	0 人 （定員5人）
担当課及び 連絡先	政策課（839-2135）

会議経過及び会議結果

会議の概要は、次のとおり

(1) 「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」の目標達成状況 及び 取組事業の評価等について（対象：平成29年度実施事業）

資料1、資料2、参考資料について事務局から説明。

(2) 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏における取組事業の新規・拡充等について（平成31年度以降実施分）

資料3、資料4について事務局から説明。

（委員）

地域包括支援センター運営事業のK P Iである自立高齢者率について、平成35（2023）年度目標値が平成28年度実績値の78.4%より低い値になっている理由を教えてください。

（事務局）

今後、後期高齢者が増加することから、低い数値となっている。ただ、何も対策を打たないと平成35（2023）年度では目標値以上に自立高齢者率は低下すると想定されている。圏域で連携し広域的に事業を実施することで、低下の抑制を見込んでいる。

（委員）

データ利活用型スマートシティ推進事業で構築されている、I o T共通プ

会議経過及び会議結果

プラットフォームが連携市町でどのように活用できるか、具体的に教えていただきたい。

(事務局)

現在、高松市では防災や観光の分野で取り組んでいるが、例えば、防災分野で言えば水位計を設置し、構築済みのI o T共通プラットフォームにつないでいただければ、データ確認が可能になる。

連携市町で同じように取り組めるものとそうでないものがあると思う。今後、高松市から連携市町に説明を行い、スマートシティたかまつ推進協議会へのオブザーバー参加等も含め、情報共有を図りながら具体的な検討を進めていきたい。

(会長)

新規・拡充事業等については、事務局からの説明どおり進めていくということによろしいか。

(全委員)

異議なし。

(3) その他

圏域愛称について

資料5について事務局から説明。

講演会の開催について

開催日時等について事務局から説明。

(会長)

圏域愛称を設ける方向で進めていくということによろしいか。

(全委員)

異議なし。

(会長)

以上で本日の会議を終了する。